

当院でアレルギー性気管支肺真菌症もしくはアスペルギルス感作喘息として  
診療を受けた患者さんへ

## アレルギー性気管支肺真菌症 第2回全国実態調査

1) 研究目的と意義: アレルギー性気管支肺真菌症は、一部の喘息患者さんにみられる、真菌に対するアレルギー疾患です。再発を繰り返すことや、進行して呼吸不全になる重症例もあり、より適正な診断が求められます。2013年度に行われた前回の実態調査によって、本邦における臨床像が海外からの報告と異なることがわかり、新しい診断基準が提唱されました。新しい基準に基づき診断されたアレルギー性気管支肺真菌症の臨床像を検討することで、診断基準の妥当性を確認し、難治症例の特徴を明らかにし、そして治療指針を作成することを目的としています。

### 2. 研究内容

#### 1) 対象となる患者さん

2014年1月1日から2019年12月31日までに当院でアレルギー性気管支肺真菌症(診断基準5項目以上を満たす)もしくはアスペルギルス感作喘息として診療を受けた方

#### 2) 研究期間

2020年4月18日～2021年12月31日

#### 3) 利用する情報/資料

年齢、性別、喫煙歴、臨床検査値(IgE、好酸球数)、呼吸機能検査、X線やCTなどの画像所見、治療の内容とその効果など。これらを匿名化した電子化データとして集積します。これらの情報は研究終了後5年または研究結果発表後3年のいずれか遅い時期に廃棄します

#### 4) 研究方法

後向きに解析する観察研究です。多施設共同研究で、データ解析は東海大学医学部付属病院で行われます。

診療情報は当施設の研究担当者が匿名化し保管、管理し、特定の関係者以外がアクセスできない状態で研究代表機関である東海大学医学部付属病院へ送付されます。

#### 5) 問い合わせ・連絡先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

#### <問い合わせ・連絡先>

三菱京都病院 呼吸器・アレルギー科 安場 広高

〒615-8087 京都市西京区桂御所町1番地 電話 075-381-2111(代)